

看護研究

母乳栄養に関する意識調査と援助に関する一考察

佐々木和歌子 川井孝子 本木洋子 浅野希和子
池口幸子 下浦竹美 谷津万里

はじめに

当院では、昭和63年より母乳栄養の普及、確立に向けて本格的な取組を始めた。昭和63年の調査では、生後3カ月の乳児における母乳栄養の割合は56%という結果であった。

当院は近隣町村からの分娩希望者が、全分娩件数の半数以上を占めるため、対象の生活環境やニーズが多様である。これらのことから状況に応じた弾力的な指導、及び援助が必要と考えられた。

今回、妊娠中から産褥各期にわたり、母乳栄養に関する母親の意識、及びどのような援助を必要としているかを把握するために、アンケート調査をおこなった。この結果をもとに援助のあり方を再検討したので報告する。

調査対象並びに調査方法

調査期間は平成5年11月23日から平成6年5月6日までであった。

調査対象は、1)~3)に該当する妊婦ないし新生児の母親である。

- 1) 当院産科外来で健診を受けた妊娠8ヶ月以降の妊婦(初産婦34名、経産婦42名)
- 2) 当院で分娩した褥婦(早産、死産、早期断乳者は除く)(初産婦58名、経産婦64名)
- 3) 当院小児科外来で1ヶ月健診を受けた新生児の母親(初産婦71名、経産婦62名)

調査結果及び考察

アンケート調査の結果、図1に見られているよ

うに「母乳で育てたい」という解答が93.4%を占め、図2では「母乳は簡単」という解答が61.8%を占めた。図3では、妊娠中の母乳に関する知識の習得手段は「育児書、テレビ」が52.6%を占め「母親学級」は、わずか25%である。このことから漠然としたイメージでしか母乳栄養をとらえられていない状況にある。母乳栄養の確立状況は退院時には54.1%1ヶ月健診時には46.6%にとどまっている。又63.1%の率で相談窓口の設置希望があった(図6)。図5に示しているように、乳房の手入れ、搾乳方法を含め指導内容の見直しが必要である。又、図4の要因が退院後の母乳確立に到達しない状況を作っていると考えた。これらをもとに分析した結果

- (1) 母親学級、及び外来における指導の充実
- (2) 看護者間における指導の充実
- (3) 妊婦、褥婦からの情報収集手段の検討
- (4) 母乳外来の設置

以上4点の対策案があげられた。

現在(1)に関しては、外来で妊娠20週頃の妊婦を対象に、乳頭の手のいれの指導が行われはじめたばかりである。初産婦には乳頭の形態に合わせて、経産婦には前回の母乳の確立状況を踏まえた上での指導を行っている。

(2)については看護者間の指導内容の統一を図るため、再度SMC式乳房自己管理に関する学習会を検討中である。またケースカンファレンスをヒントに個々の母親に適切な授乳法を見出すようにしている。

(3)については褥婦と新生児担当のスタッフが、

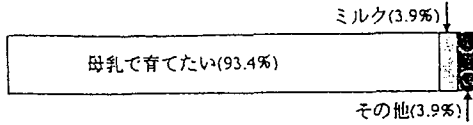


図1 栄養方法についての希望

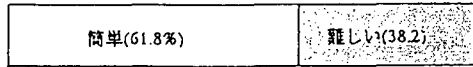


図2 母乳のイメージ

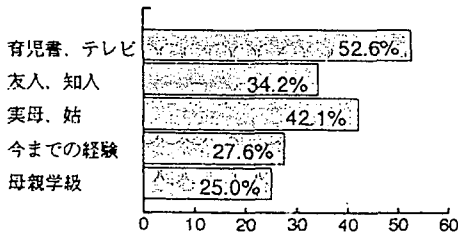


図3 母乳哺育の知識の習得手段（複数回答）

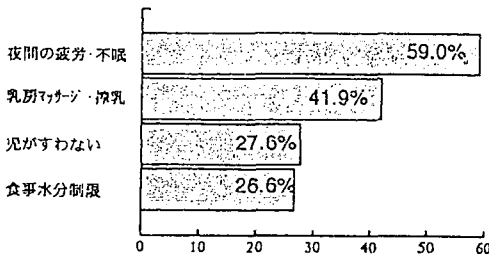


図4 入院中の授乳トラブル（複数回答）

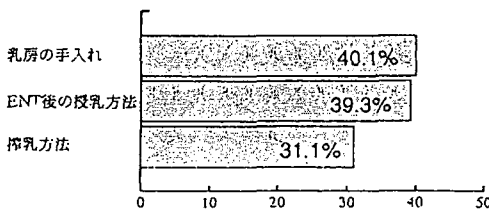


図5 希望する指導項目（複数回答）

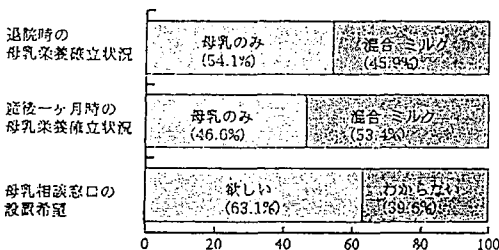


図6 アンケート調査より抜粋

お互いにスムーズに情報の交換を行うことが出来るように、記録様式の見直しを行っている。また授乳を開始する時には「どのような栄養方法で育児をしていきたいか」を聞き個々の褥婦の希望に添った授乳方法を目指している。

おわりに

本研究においてアンケートでは、いくつかの意見が寄せられた。それらをまとめると

- (1) 個々の意見を尊重して欲しい
 - (2) 妊娠中に母乳栄養に対する知識を高めるような場を設けて欲しい
 - (3) 楽しいと思えるような母乳哺育がしたい
 - (4) プレッシャーをかけるような指導はやめて欲しい
- という内容だった。

このことから、私たちは母乳哺育に関する援助について、指導の統一性と、継続性が最も必要であると感じた。又、指導的立場にある看護者の一方的な押しつけとならぬように注意をしながら指導、及び援助を行っていかねばならないと痛感した。

今回は産後1ヶ月迄の母乳の確立状況を調査したが、今後は長期的にみた調査研究を行うのが課題である。

本稿の要旨は、平成6年11月10日に岡山市で開催された第33回全国自治体病院学会において発表した。

文 献

- 1) 長谷川 宏人：「周産期シリーズ3、乳房管理と母乳育児指導」メディカ出版 1987.10.15 初版第2刷
- 2) 藤森 和子：「乳房自己管理の実際」メディカ出版 1990.6.25
- 3) 根津 八紘：「母乳育児を成功させる本」主婦の友社 1992.10.1